



2016年5月6日

「サイバー攻撃を想定した訓練・研修サービス」の提供開始

SOMPOリスクアマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスクアマネジメント」）は、5月6日から「サイバー攻撃を想定した訓練・研修サービス」（以下「本サービス」）の提供を開始します。本サービスは、一部を除き、株式会社ラック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高梨 輝彦、以下「ラック」）との連携により提供します。

1. 背景

昨今、サイバー攻撃は巧妙化した新たな手法が次々に出現し、標的型攻撃メール^(※1)やWebサイト改ざん^(※2)などによる情報セキュリティ事故が公的機関や企業等の組織で頻発しています。

こうした事態に対し、日本政府では、2014年11月に「サイバーセキュリティ基本法」を制定したり、2015年1月に「内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）」を設置したりするなど、サイバー攻撃への防御体制強化を推進しています。また、企業等の組織におけるサイバーセキュリティの取組みが促進するよう、経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構が企業等の経営者向けに「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」を2015年12月に策定しています。

これらの情報セキュリティ事故や政府の取組みにより、SOMPOリスクアマネジメントにもサイバーセキュリティに関するお問い合わせが増加するなど、企業等では、情報セキュリティに関するリスクへの関心度がより一層高まってきています。一部の企業等においては、サイバーセキュリティに対処する専門組織であるCSIRT^(※3)を構築する動きも出てきています。

このような状況を受け、企業等の情報セキュリティ体制強化の一助となるよう、SOMPOリスクアマネジメントではサイバー攻撃への対応力向上を支援する訓練・研修等のメニューを用意し、本サービスの提供を開始することとしました。

*1 重要な情報を盗むこと等を目的として、主に電子メールを用いて特定の組織や個人を狙う攻撃手法です。添付ファイルを実行する（開く）とマルウェア（悪意のある不正ソフトウェア）に感染し、コンピュータ内の情報を流出させたり、企業・組織全体がセキュリティ上危険な状態になる可能性があります。

*2 政府組織や企業などの組織が運営するWebサイトを、セキュリティ上の弱点（脆弱性）や管理者アカウントの窃取などにより不正に書き換える行為で、Web閲覧者に不正なソフトを配布したり、好ましくないWebサイトへ誘導するなどの被害を与えたりするものです。攻撃を受けた組織は社会的な信頼が著しく低下します。

*3 Computer Security Incident Response Teamの略で、コンピュータセキュリティに係るインシデントに対処するための組織の総称（機能）です。具体的には、平時においては、インシデント関連情報、脆弱性情報および攻撃予兆情報を収集して対応方針や手順の策定等の活動を実施し、有事においては、インシデント発生時に迅速かつ適切な判断を行います。

2. 本サービスの概要

(1) メニュー

本サービスでは、以下4つのメニューをご提供します（詳細は<別紙>参照）。

- ① サイバー攻撃想定机上訓練
- ② サイバー攻撃想定実機訓練
- ③ 標的型攻撃メール対応訓練

④ 情報セキュリティ研修コース

(2) 対象

CSIRTの構築を検討する企業、または構築済の企業等の経営層から担当者までの全ての社員等およびシステム委託会社の社員等。

(3) 特長

企業等におけるリスクマネジメント・危機管理の体制構築・強化のコンサルティングを数多く手掛けるSOMPOリスクアマネジメントと、情報セキュリティ対策サービスが高く評価されているラック（会社概要は<別紙>参照）が相互の得意分野を活かし、専門的かつ実践的な訓練・研修サービスを提供します。

3. 受注目標

初年度に年間120件、3,000万円の受注を目指します。

4. 今後の展開

SOMPOリスクアマネジメントは、本サービスを通じて、企業等のサイバーセキュリティ体制の強化を含めたリスクマネジメント活動に貢献してまいります。

SOMPOリスクアマネジメントについて

SOMPOリスクアマネジメント株式会社は、損保ジャパン日本興亜グループのグループ会社です。

「健康指導・相談事業」「メンタルヘルスケア事業」「リスクマネジメント事業」を展開し、特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策、全社リスクマネジメント（ERM）・事業継続（BCM・BCP）などのソリューション・サービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクアマネジメント株式会社 リスクマネジメント事業本部
BCMコンサルティング事業部 [担当：末岡]、ERM事業部 [担当：井口]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-4225（直通）

報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPOリスクアマネジメント株式会社
経営企画部 [担当：田所]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-5468（直通）

以上

<別紙>

1. 本サービスの詳細

メニュー (*4)	項目	内容
①サイバー攻撃 想定机上訓練	形式	訓練（実機は未使用）
	実施期間	企画：2～3ヶ月、訓練：60～120分
	費用（税抜・交通費別）	150万円～
	コンセプト	CSIRT構築のポイントを学ぶとともに、構築済のCSIRTに関する課題を抽出します。
	プログラム	経営層、情報セキュリティ担当者、危機管理担当などの訓練参加者に対して、情報セキュリティ事故の拡大の様相を踏まえた検討課題を講師が紹介します。訓練参加者は、この検討課題について、会社としての対応を考えていきます。
②サイバー攻撃 想定実機訓練	形式	座学・訓練（実機を使用）(*5)
	実施期間	企画・準備：1か月、訓練・研修：2日間
	費用（税抜・交通費別）	320万円～
	コンセプト	サイバー攻撃時に必要となる対応を実体験で学びます。
	プログラム	訓練用の環境である仮想企業において、情報セキュリティ担当者、危機管理担当などの訓練参加者が情報セキュリティ事故の検知、真偽の分析、封じ込め、根絶、復旧、再発防止策までの流れを、実機環境を用いて対応していきます。
③標的型攻撃メール 対応訓練	形式	訓練（実機を使用）
	実施期間	約2か月（企画・準備期間含む）
	費用（税抜・交通費別）	50万円～ （メール送信対象が300メールアドレスの場合）
	コンセプト	企業等の従業員が標的型攻撃メールに対する免疫を身に付けます。
	プログラム	訓練用の標的型攻撃メールを従業員に送付することで、標的型攻撃の脅威と対処方法の理解を促進し、実施結果を分析することで企業の現状を把握することができます。
④情報セキュリティ 研修コース	各種研修コースをご用意しています。	

*4 本サービスのうち②～④は、情報セキュリティ対策を専門とするラックと連携して提供します。

*5 訓練に係る会場、機材等はお客さまにてご用意していただきます。なお、お客さま個人で参加できるコースも

④でご用意しています。

2. 株式会社ラックについて

本社所在地	東京都千代田区平河町2丁目16番1号 平河町森タワー
代表者	高梨輝彦
資本金	10億円
事業概要	<ul style="list-style-type: none">・セキュリティソリューションサービス・システムインテグレーションサービス・情報システム関連商品の販売およびサービス
従業員数	連結 1,691名 (2016年4月1日現在)